

# 独立行政法人地域医療機能推進機構二本松病院地域協議会

## 議 事 録

日時：平成 26 年 10 月 29 日（水）15：00～16：15

場所：病院会議室

出席者：斎藤 仙治（二本松市市民部部長）

佐藤 正弘（二本松市福祉部部長）

原田 眞作（安達地方広域行政組合消防本部警防課長）

安齋 英雄（二本松市社会福祉協議会副会長）

土川 研也（安達医師会会長）

原 健二（原医院院長）

藤田 俊徳（二本松薬剤師会会長）

矢吹 孝三（二本松市民生児童委員協議会会長）

吉野 正昭（二本松市岳下区長会会長）

六角院長・柳沼副院長・藤原事務長・佐藤総看護師長・小島薬剤科長・

遠藤副施設長・熊本係長（書記）後藤（書記）

欠席者：遠藤 幸男（福島県県北保健福祉事務所所長）

議事内容（藤原事務長進行）

・協議会次第にそって

1. 開会

2. 院長挨拶

・本日は、お忙しいところ二本松病院地域協議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

本年 4 月に地域医療機能推進機構として新たにスタートし、7 か月が経過するところですが、病院をはじめ健康管理センター、附属老人保健施設、訪問看護ステーションなど、何とか滞りなく運営されているところです。

これもひとえに、地域の皆様方のご支援の賜物と、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、この地域協議会は、地域医療機能推進機構法の第 20 条で「機構は、施設の運営に当たり、協議会の開催等により、広く当該施設の利用者その他の関係者の意見を聴いて参考とし、当該地域の実情に応じた運営に努めなければならない。」と設置が義務付けられている協議会です。

当院は、今後さらに進んでいく高齢化社会において、急性期の医療から介護、在宅療養まで、地域で相互に連携できるような体制づくりを、地域の皆様と一緒にあって取り組んでいきたいと考えております。

今日は、第一回目の協議会ということで、委員の皆様のご紹介と、機構の概要や当院の運営状況をご説明したいと考えております。

より良い病院づくりを目指していくため、いろいろご意見をいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

### 3. 委員の紹介

- ・事務長紹介

### 4. 委員長の選出及び副委員長の指名

- ・委員長 医師会長 土川 研也氏 ・副委員長 原医院院長 原 健二氏に決定。

### 5. 議事

#### 1) 地域医療機能推進機構の概要について

- ・JCHO本部のパンフレットに沿って説明（機構とは、診療事業、研究事業、施設等）

#### 2) 二本松病院概況について

- ・病床数、診療科、施設基準関係、職員配置一覧表等説明
- ・地域協議会資料の説明（H26 9 月分まで累計収支状況、入院、外来患者数、診療額等）

#### 3) 二本松病院の地域における役割について

- ・事務長より  
委員の皆様からご意見を頂きたい

#### **: 二本松市市民部斎藤部長**

予防・ドック・がん健診等ご協力いただきありがとうございます。  
産科医の確保について市と病院で協力して取り組みを進めていきたい。

#### **: 二本松市福祉部佐藤部長**

二本松病院の取り組みに感謝いたします。高齢化社会に対する福祉の計画、介護保険の計画、地域包括のエリアへの取り組みについて二本松市は少し遅れています。  
市のエリアで安心して生活をしていくとのニーズを構築したいと考えているので、ぜひ二本松病院さんにご協力いただきたい。

#### **: 医師会土川会長**

安達医師会も力を入れている

**: 消防原田課長**

医師不足は想像を絶するものがある。そのような中救急の受け入れをお願いしたい。各内は栢病院、栢記念病院が受け入れ数が多い。受け入れ拒否があると福島、郡山に搬送し手当が遅れているのも現状です。また救急救命士の研修受入れの検討もお願いしたい。

**: 六角院長**

救急の受け入れ態勢については先生方の意識は以前に比べて高まっている

**: 社会福祉協議会安齋副会長**

介護保険について民間も参入しているが、患者の立場なのか病院の立場なのかかわからないところもあるようだ。一般市民の負担も多くなっているので、適正な運営をお願いしたい。

**: 六角院長**

患者の為にやっている。利益だけを優先した運営はしていない。

**: 岳下地区吉野区長**

産科の充実をお願いしたい。若い人の減少もその為かもしれない

**: 児童民生協議会矢吹会長**

病院の収支は右肩下がりのようなのだがどのように考えているのか

**: 六角院長**

医師不足が最大の要因です。医大はいろんなポストができ、細分化され外部に出す先生がいなのが現状です。なお医大にも頻繁に顔を出しているが引き続き粘り強く医師派遣をお願いしてきます。

**: 薬剤師会藤田会長**

小児科医師は来ているのか、皮膚科は週1回診療しているが患者増は図られているのか、市民の人は皮膚科があることがわからない。

**: 六角院長**

小児科は本年4月より休診中です。

**: 原医院原院長**

病院によって診療科が特化しているが市内の病院で済むように受け入れてもらいたい。

**: 六角院長**

病院同士連携を図り、疾患の重要性を考え当院で受け入れられものは受け入れます。

4) その他

次の開催日は平成27年2月または3月を予定させていただきます。

5 閉会